

平成 26 ( 2014 ) 年度 教員活動報告書 ( 1/9 )

学部・学科	総合社会学部・総合社会学科	職名	教授	氏名	潘 宏 立
学歴	昭和57年 7月 中国国立廈門大学歴史学部考古学科卒業 昭和60年 6月 中国国立廈門大学大学院文化人類学専攻修士課程修了 平成 4年 1月 国立総合研究大学院大学文化科学研究科博士後期課程研究生「平5.3まで」 平成10年 3月 国立総合研究大学院大学文化科学研究科比較文化学専攻博士後期課程修了				
学位	昭和60年 6月 歴史学修士 (中国国立中山大学) 平成10年 3月 文学博士 (国立総合研究大学院大学 総研大甲第303号)				
専門分野	文化人類学、現代中国の社会・文化研究				
専門資格					
所属学会	昭和59年 5月 中国人類学会 昭和60年 5月 中国世界民族研究会 昭和61年 7月 中国民俗学会 平成 4年 5月 日本文化人類学会 平成19年 6月 日本華僑華人学会				
受賞	平成21年11月 The Old Folks' Associations and Lineage Revival in Contemporary Villages of Southern Fujian Province(論文)は「第十二届在日中国人留学成果論文集」にて中華人民共和国駐大阪総領事賞受賞				
担当授業科目	学 部 中国地域研究、中国文化研究、アジア地域論、総合社会学基礎演習 (メディア・社会心理学クラス)、総合社会学演習・、文化人類学演習I・、卒業研究演習I・、卒業論文、実践人類学A・B、中国語ベーシック、中国 (天津) インターンシップ (課外)				
論文指導	論文指導担当[主査] (卒論: 3名)				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	1	科目名 中国地域研究	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 約40名
	授業の概要: 現代中国の民族構成、漢民族の社会文化の多様性、また、宗教文化、年中行事、通過儀礼、食文化に関連する状況や問題、およびそれらに関わる漢民族の文化習俗について学ぶ。 教育活動の振り返り 教育活動の成果: 講義内容は最新の研究成果や最新の資料を取り入れて、実用性を高めるよう努めた。毎回の授業には必ず参考資料を学生に配布すると同時に、授業後に感想と質問を提出してもらい、授業の効果と問題点を把握した。授業中、自分が現地調査で撮影した映像を編集・制作したDVD やビデオやPPT などの映像教材を活用し、教学の効果を向上させた。 今後の課題: 現代中国に関する授業時間は少ないので、どのように基礎知識と実用性の高い内容をバランス良く取り入れて講義するかという課題がある。				
F D 活 動 ・ 教 育 実 績	2	科目名 実践人類学	科目カテゴリー 講義・演習・実習・実験	実施学期 春・秋	履修者数 7名
	授業の概要: 習得した文化人類学や中国に関する知識を生かし、地域の中国帰国者への支援などの地域貢献をする実践的な学習であり、MJ (京都文教マイタウン向島) の中国語教室、萬福寺の祭り、映画祭、京都文教短期大学付属小学校の中国文化講義、中国実習写真展、神戸華人社会の訪問調査など多くの実践活動を行った。				

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (2/9)

	<p>教育活動の振り返り 教育活動の成果： 実践的な学習は学生の成長と地域貢献に役立った。例えば、参加学生は、教室内で勉強できないことも、実践をとおして多く勉強できた。特に、チームワーク、企画力、コミュニケーション力、講演や展示方法、異文化の理解力の面において多くの収穫が得られた。また、関わった方々から高い評価を頂いた。</p> <p>今後の課題： 実践人類学は休講となり、今後どのように実践的な学習時間を確保するかは課題となっている。</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">F D 活 動 ・ 教 育 実 績 つ づ き</p>	<p>・学内外のFD関連講演会/セミナー等への参加実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学内のFD講演会「京都文教大学の初年次教育を考える」に参加した（平成26年10月30日）。</li> <li>・学外人権研修会に参加し、宇治市伊勢田ウトロ地区でフィールドワークを行い、ウトロ生活センター「エルファ」にて講師と意見交換をした（平成26年10月31日）。</li> </ul>
	<p>・教育効果が高い、あるいは教育の一環として行われている課外活動等</p> <p>平成26年 6月 7日 ゼミの3回生と4回生を引率し、神戸で華僑博物館、関帝廟、福建会館、南京町を訪問し、華僑と交流を行った。</p> <p>平成26年 7月 5日 ゼミ生と中国インターンシップ参加学生を連れて、大阪国際交流センターで開催された「アジアの未来を切り拓く人材育成を目指して」という日中韓三か国学生交流大会に参加した。</p> <p>平成26年8月2-3日 実践人類学の受講生を指導し、中国文化の品物をオープンキャンパスの会場で展示し、来場した高校生らに良い交流を行った。</p> <p>平成26年8月24日-9月4日 中国インターンシップ中、中国の一般市民との交流の場を多く設け、その方法を指導し、互いに深く理解し合い実践成果が得られた。</p> <p>平成26年9月1-3日 中国インターンシップ中、本学の学生と天津商業大学日本学科の学生交流を行い、交流の内容と方法を参加学生に指導した。</p> <p>平成26年 9月21-25日 本学と中国の大学間交流に尽力している。例えば、本学文化人類学研究科に留学する予定の厦門大学嘉庚学院学生に入学前の講義を行った。（中国厦門大学の教授らの訪日への協力および対応、本学での講義を行って頂いた。）</p> <p>平成26年10月17-19日 今年度の実践人類学（潘担当）実習生を引率し、萬福寺で行われた普度勝会<small>しょうえ</small>に参加し、現場での学習や支援活動を行った。</p> <p>平成26年10月25日 実践人類学の受講生を指導し、宇治橋通り商店街で行われた「宇治橋通り笑顔がいっぱいわんさかフェスタ」に参加し、本学のサテライトキャンパスで中国文化写真展を開催し、中国茶コーナーを設け、一般市民と交流した。</p> <p>平成26年12月20日 「第6回アジア・アフリカとびっきり映画祭」において、ゼミ生と中国インターンシップ参加学生は、中国映画写真展と中国研修成果の紹介を行い、中国茶のコーナーを設け、一般市民や中国帰国者と交流を行った。</p> <p>平成27年1月23日-2月6日 今年度の実践人類学（潘担当）実習生に指導し、京都文教短期大学附属小学校の「グローバル週間」における中国文化の展示のため、その企画から陳列までを行った。また、参加学生も小学生に中国文化について講義した。</p>
<p>H26 年度 研究課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 中国東南部における同姓組織と海外華人社会についての継続研究</li> <li>2. 中国雲南省・四川省における少数民族の伝統文化およびその変容についての現状調査</li> <li>3. 中国南部地域のムスリム宗族に関する総合的調査と比較研究</li> <li>4. 現代中国社会の変容とその研究視座の変遷 宗族を通じた検証</li> </ol>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (3/9)

<p>平成二十六年 (2014) 年度の研究活動の概要</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 科学研究費助成事業 (基盤研究B) 「中国南部地域のムスリム宗族に関する総合的調査と比較研究」 後述: (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) の研究分担者として現地調査を行い、資料を収集した (平成27年2月-3月)。また、同研究の国際学術シンポジウム「中国南部地域のムスリム宗族の成立と発展」に参加し、コメンテーターを務めた (平成26年11月26-27日)。</li> <li>2. 科学研究費助成事業 (基盤研究C) 「現代中国社会の変容とその研究視座の変遷 宗族を通じた検証」 後述: (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) の連携研究者として日本文化人類学会第48回研究大会のグループ発表に出席した (平成26年5月17-18日)。</li> <li>3. 国立民族学博物館の機関研究プロジェクト「中国における家族・民族・国家のディスコース」 後述: (学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含) の共同研究員として研究を行い、国際学術シンポジウム「中国文化の持続と変化 グローバル化の中の家族・民族・国家」に参加し、コメンテーターを務めた (平成26年11月22-23日)。</li> <li>4. 本学2014年度海外学術研究助成金により、中国南京大学で開催し国際学術シンポジウム「宗教と文化」(南京大学社会学院人類学研究所主催、日本東アジア人類学研究会協賛) に出席し、「福建省南部農村における宗族の祖先祭祀空間および祭祀風習」という研究発表を行った。また、座長とコメンテーターを務めた (平成26年4月25-27日)。</li> <li>5. 個人研究課題である「中国東南部における同姓組織と海外華人社会についての継続研究」をめぐって、福建省において現地調査を行った。 後述: (調査活動)</li> <li>6. 個人研究課題である「中国雲南省・四川省における少数民族の伝統文化およびその変容についての現状調査」は、雲南省での調査を行い、良い成果を得た。 後述: (調査活動)</li> <li>7. 本学地域協働研究教育センター共同研究である「京都南部・向島地域のニュータウンにおける大学・住民協働のまちづくり研究」に参加し、研究会合に出席し、研究活動を行った。</li> </ol>
<p>平成二十六年 (2014) 年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <p>(論文)</p> <p>(学会報告、学会活動)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日本文化人類学会第48回研究大会 (参加) 平成26年5月、千葉幕張国際会議場</li> <li>2. 「福建省における回族の宗族形成およびその現状」、単独、平成26年8月、科学研究費助成事業 (基盤研究B) 「中国南部地域のムスリム宗族に関する総合的調査と比較研究」の研究会合、北海商科大学</li> </ol> <p>(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)</p> <p>学術講演:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「現在における日本文化人類学研究および教育の実況」、単独、平成26年9月、廈門大学人類学研究センター (中国)</li> <li>2. 「京都の萬福寺と隠元および中国の鄭成功 17世紀中期における日中交流のドラマをめぐって」、単独、平成27年3月、廈門大学外国言語文化学院 (中国)</li> </ol> <p>エッセイ:</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「忘れられない第二の故郷」、共著 (当該部分担当)、平成27年3月、昭和堂、杉本星子・小林大祐・西川祐子編、『京都発! ニュータウンの「夢」建てなおします 向島からの挑戦』 (pp.176-179)</li> </ol> <p>(調査活動)</p> <p>平成26年 9月 中国雲南省における少数民族の伝統文化およびその変容についての現状調査  平成27年 2月 中国福建省における同姓組織と海外華人社会についての継続研究の現地調査  平成27年 3月 中国福建省泉州市杏宅回族村における宗族組織およびその活動についての継続調査</p> <p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)</p> <p>平成24年度-平成27年度</p> <p>科学研究費助成事業 (科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金) (基盤研究B・海外学術) 「中国南部地域のムスリム宗族に関する総合的調査と比較研究」(課題番号24401038, 研究代表者: 神戸大学・国際文化学研究所・教授 王柯) 研究分担者</p>

平成26 (2014) 年度 教員活動報告書 (4/9)

<p>平成二十六年(2014)年度の主な研究成果等</p>	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含 つづき)</p> <p>平成24年度-平成26年度                  科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)「現代中国社会の変容とその研究視座の変遷 宗族を通じた検証」(課題番号24520907, 研究代表者:東北大学・東北アジア研究センター・教授・瀬川昌久)連携研究者</p> <p>平成24年度-平成26年度                  国立民族学博物館機関研究(研究領域:「包摂と自律の人間学」)「中国における家族・民族・国家のディスコース」(研究代表者:国立民族学博物館・民族社会研究部・教授 韓敏)共同研究員</p> <p>(学内活動)                  研究成果刊行助成委員会委員長、産学協働教育推進委員会委員、総合社会学部実習委員</p> <p>以上の各種委員会の仕事に尽力した。特に産学協働教育推進委員会の委員として本学の関係者と共に他大学との連携や交流に積極的に取り組み、海外インターンシップ引率の経験やノウハウを関係大学に提供したこともあり、良い評価を得た。                  また委員会以外では、中国大学との交流のため、引き続き努力した。例えば、提携大学である天津商業大学との交流は、本学学生の天津インターンシップ研修として具体化にするよう尽力した。また、引き続き廈門大学嘉庚学院との交流強化のため努力し、本学大学院生の事前授業のため、夏、当大学に集中講義を行った。その他、本学大学院で留学中の留学生の学習や生活面において様々な支援や指導を行った。</p>
<p>平成二十六年(2014)年度の社会における活動</p>	<p>(NPO 法人等の団体への参画)</p> <p>平成 22 年度-現在に至る 京都府中国帰国会や、向島ニュータウンの中国帰国者団体の「夕陽紅」グループを中心とする中国帰国者への協力活動</p> <p>平成 26 年度 春学期:学生と共に MJ(京都文教マイタウン向島)の日本語教室の中国帰国者への授業に協力。                  秋学期:向島ニュータウン住民の防災訓練のため、京都むすび塾実行委員会に参加。(多くの中国帰国者に参加を促すため、関係者と協力した。                  平成 27 年 2 月:「夕陽紅」グループの春節祝う活動に参加</p> <p>平成 26 年 10 月 実践人類学(潘担当)実習生を引率し、萬福寺で行われた普度勝会に参加。(在日華僑・華人への支援活動)</p> <p>(小中高との連携授業の講師)</p> <p>平成27年 2月 京都文教短期大学附属小学校「グローバル週間」・中国文化講座講師、対象:同校6年生、テーマ:「中国および春節」、於:同校</p> <p>(その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 龍谷大学法学部兼任講師(東アジア研究担当)「平15.4より」</li> <li>・ 大阪府日中友好協会会員「平22.4より」</li> <li>・ 中国廈門市海外聯誼会理事「平10.4より」</li> <li>・ 中国広東省民族研究所客座教授「平17.1より」</li> <li>・ 中国泉州海外交通博物館兼職研究員「平17.1より」</li> <li>・ 中国福州大学客座教授「平22.4より」</li> </ul>
<p>平成二十一年(2009)～平成二十五年(2013)年度の主な研究成果等</p>	<p>(著書)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 『近30年東亜華人社団的新変化(和訳著書名:この30年間における東アジアの華人社団の新変化)』(廈門大学蘇氏東南研究中心系列叢書) 共著、平成22年11月、廈門大学出版社(中国)、共著者:庄国土・清水純、507p</li> <li>2. 『現代アジアにおける華僑・華人ネットワークの新展開』、共編、平成26年2月、風響社、共編者:清水純・庄国土、580p</li> </ol>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (5/9)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の主な研究成果等

(論文)

1. 「菲律賓華人社会與閩南僑郷の同姓組織：菲華蔡氏宗親組織的結構及其互動 (和訳論文名：フィリピンの華人社会と福建省南部華僑故郷の同姓組織：フィリピンと中国の蔡氏宗親組織の構造およびその相互作用)」、単著、平成22年11月、廈門大学出版社(中国)『近30年東亜華人社団的新変化』(pp.372-395)

(学会報告、学会活動)

1. 「福建省南部における華僑・華人ネットワークと同族・同郷組織についての調査報告」、単独、平成21年4月、日本大学中国・アジア研究センター
2. 日本文化人類学会第43回研究大会(座長・大会参加) 平成21年5月、大阪国際交流センター
3. 日本華僑華人学会2009年度研究大会(実行委員会委員) 平成21年11月、大阪大学中之島センター
4. The Fishing Village and the Life of its Fishing Population in Southern Fujian Province of China (「中国福建省南部の漁村及び漁民生活」) 単独、平成22年3月、平成18-21科学研究費補助金(基盤研究B・一般)「沿岸河口域における持続的な水産資源利用モデルの構築とアジアへの適用に関する研究」(課題番号18320138, 研究代表者:立教大学・文学部・教授 野中健一) 国際シンポジウム、仁荷大学(韓国)
5. 「海外華人社会與閩南僑郷の同姓組織：菲華蔡氏宗親組織的結構及其互動的研究」、単独、平成22年5月、国際シンポジウム「第1届閩商国際研討会」、福州市(中国)
6. 「フィリピン華人社会と閩南僑郷の同姓組織」、単独、平成22年12月、国際シンポジウム「現代アジア社会における華僑・華人の社団とネットワーク」、日本大学中国・アジア研究センター
7. 総合研究大学院大学文化科学研究科博士論文審査委員：平成23年1月、国立民族学博物館
8. 日本華僑華人学会2010年度企画委員会委員：平成23年3月 第4回研究会の企画・執行、キャンパスプラザ京都
9. 「伝統文化の越境 福建南部とフィリピンの華人社会の宗親会の事例から」、単独、平成23年4月、平成23年度民博共同研究「中国における社会と文化の再構築 グローカリゼーションの視点から」、国立民族学博物館
10. 「現代福建南部の宗族組織構造及び房の社会的な機能」、単独、平成23年6月、中国東南地域における人類学・民族学の発生及び発展の学術シンポジウム、廈門大学人文学院(中国)
11. 「中国東南地域における人類学・民族学の発生及び発展の学術シンポジウム」(座長) 平成23年6月、廈門大学人文学院(中国)
12. 「陳埭回族老人会及びその社会的機能 近隣地域の漢族村落との比較研究」、単独、平成24年1月、サントリー文化財団研究助成「中国沿海部ムスリム社会の『公共空間』についての研究：原理・類型・関係」国際シンポジウム、泉州海外交通史博物館(中国)
13. 「日本の博物館および文化人類学の研究・教育機能について」、単独、平成24年6月、国際シンポジウム「遺産・観光・博物館：人類学的展望」、アモイ(中国)
14. 日本文化人類学会第47回研究大会(参加) 平成25年6月、慶應義塾大学
15. 「現代中国社会の変容に関する文化人類学研究」第5回研究会(出席、討論) 平成26年3月、東北大学

(その他、エッセイ・翻訳・学術講演等)

学術講演：

1. 「日本文化人類学与当代中国的宗族研究」(和訳名：日本文化人類学及び現在における中国の宗族研究) 単独、平成23年11月、「2011『当代人類学民族学前沿理論』・『985工程』民族学人類学重点学科建設項目」系列講座之(九)(中国北京)中央民族大学
2. 「京都の萬福寺と隠元および中国の鄭成功：17世紀中期における日中交流のドラマをめぐる」、単独、平成25年3月、第一回西南学院大学国際文化学会公開講演、西南学院大学コミュニティセンター(福岡市)
3. 「日本民族学人類学現状研究」(和訳名：日本における民族学・人類学に関する現状の研究)、単独、平成26年3月、『民族与宗教系列講座』、中国広東省民族宗教研究院(中国広州市)

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (6/9)

平成二十一〜二十五 (2009〜2013) 年度の主な研究成果等

(調査活動)

- 平成21年10月 中国天津農村における同族組織の現況についての現地調査  
 平成21年12月-平成22年1月 中国東南部(福建・広東)における同姓組織と海外華人社会に関する研究の現地調査  
 平成22年 2月 中国福建省石獅市農村における華僑・華人ネットワークに関する研究の現地調査(春節の祖先祭祀と華僑を中心に)  
 平成22年 3月 1. 韓国泰安地域沿海部における漁業資源利用の変化と文化変容についての調査  
 2. 中国福建省南部(厦門・泉州・石獅市)における華僑・華人ネットワークに関する研究の現地調査(同族・同郷組織の構成とその活動を中心に)  
 平成22年 6月 中国福建省石獅市農村における経済発展と結婚儀礼の変容についての現地調査  
 平成22年 8月 中国東南部(福建・広東)における同姓組織と海外華人社会に関する研究の現地調査  
 平成22年10月 中国天津における結婚儀礼・「媽祖」信仰の現況についての現地調査  
 平成22年12月・平成23年3月 中国福建省石獅市農村における華僑・華人ネットワークに関する研究の現地調査  
 平成23年 1月 中国福建省晋江市陳埭回族ムスリム社会の「公共空間」についての現地調査  
 平成23年6月・8月 中国東南部(福建・広東)における同姓組織と海外華人社会に関する継続研究の現地調査  
 平成24年 1月 中国福建省晋江市陳埭回族ムスリム社会の「公共空間」についての継続調査  
 平成24年 3月 中国福建省石獅市農村における華僑・華人ネットワークに関する継続研究の現地調査  
 平成24年 8月 チベット自治区(ラサ・ニンティ・シガツェ)におけるチベット族とロツバ族の婚姻と家庭形態についての現状調査  
 平成24年10月 京都市向島地域における中国帰国者の生活現状についての聞き取り調査  
 平成25年 2月 中国福建省永春県達埔鎮・晋江市陳埭鎮回族社会の宗族組織についての現地調査  
 平成25年 2月 中国東南部(福建・広東)における同姓組織と海外華人社会に関する継続研究の現地調査  
 平成25年 8月 1. 中国新疆ウイグル自治区におけるウイグル族の伝統文化およびその変容についての現状調査  
 2. 中国広東省・福建省における同姓組織と海外華人社会についての継続研究の現地調査  
 平成26年 3月 1. 中国広東省海豊県における宗族再興の現況についての現地調査  
 2. 中国福建省泉州市杏宅回族村における宗族組織およびその活動についての現地調査

(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含)

- 平成18年度-平成21年度  
 科学研究費補助金(基盤研究B・一般)「沿岸河口域における持続的な水産資源利用モデルの構築とアジアへの適用に関する研究」(課題番号18320138, 研究代表者:立教大学・文学部・教授 野中健一) 研究協力者  
 平成20年度-平成22年度  
 日本大学 中国・アジア研究センター研究プロジェクト「現代アジア社会における 華僑・華人ネットワーク:社会・文明的側面の分析」(研究代表者:日本大学・経済学部・教授 清水純) プロジェクトメンバー  
 平成20年度-平成23年度  
 国立民族学博物館共同研究「中国における社会と文化の再構築 グローカリゼーションの視点から」(研究代表者:国立民族学博物館・民族社会研究部・准教授 韓敏) 館外研究員  
 平成22年度  
 平和中島財団「2010(平成22)年度アジア地域重点学術研究助成」 「東アジア・東南アジアにおける華僑・華人と『社団』組織:ビジネス・ネットワークの新たな展開とその背景」(研究代表者:日本大学・経済学部・教授 清水純) プロジェクトメンバー

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (7/9)

<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度の主な研究成果等</p>	<p>(学外研究資金による研究活動・科学研究費補助金等含 つづき)</p> <p>平成22年度-平成23年度                  サントリー文化財団「人文科学、社会科学に関する研究助成」「中国沿海部ムスリム社会の『公共空間』についての研究：原理、類型、関係」(研究代表者：神戸大学教授 王柯)プロジェクトメンバー</p> <p>平成24年度-(4年間)                  科学研究費助成事業(科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金)(基盤研究B・海外学術)                  「中国南部地域のムスリム宗族に関する総合的調査と比較研究」(課題番号24401038, 研究代表者：神戸大学・国際文化学研究科・教授 王柯)研究分担者</p> <p>平成24年度-(3年間)                  科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(基盤研究C)「現代中国社会の変容とその研究視座の変遷 宗族を通じた検証」(課題番号24520907, 研究代表者：東北大学・東北アジア研究センター・教授・瀬川昌久)連携研究者</p> <p>平成24年度-(3年間)                  国立民族学博物館機関研究(研究領域：「包摂と自律の人間学」)「中国における家族・民族・国家のディスコース」(研究代表者：国立民族学博物館・民族社会研究部・教授 韓敏)共同研究員</p>
	<p>(学内活動)</p> <p>平成20年 4月 大学人権委員会委員「平22.3まで」                  学科予算委員会委員「平22.3まで」                  地域文化特別プログラム委員会委員「平22.3まで」</p> <p>平成21年 4月 広報誌編集委員会委員「平23.3まで」                  むつみ会委員「平22.3まで」</p> <p>平成22年 4月 広報誌編集委員会委員「平23.3まで」                  公開講座委員会(短大・地域連携委員会)委員「平25.3まで」                  国際交流委員会委員「平26.3まで」                  人間学研究所所員(平成23年度『人間学研究』編集長)「平24.3まで」                  FW実習委員会委員(平成23・24年度 委員長)「平25.3まで」</p> <p>平成23年 4月 自己点検・評価 学生サービス専門委員会委員「平25.3まで」                  学生委員会委員「平25.3まで」                  宗教委員会委員「平26.3まで」</p> <p>平成23年 6月 文化人類学研究科パンフレット中国語版の翻訳</p> <p>平成24年 4月 学生相談室運営委員会委員「平25.3まで」</p> <p>平成25年 4月 産学協働教育推進委員会委員「現在に至る」</p>
<p>平成二十一～二十五 (2009～2013) 年度における活動</p>	<p>(NPO法人等の団体への参画)</p> <p>平成14年度-平成22年度 大阪府泉北中国語勉強会への支援活動を行った。</p> <p>平成19年度-平成22年度 1. 日本大学中国・アジア研究センターと中国廈門大学南洋研究院の交流提携に協力し、共同研究を円滑に実施するよう努力してきた。                  2. 平安女学院大学と廈門大学嘉庚学院の交流提携</p> <p>平成21年度・平成22年度 1. 宇治市平盛小学校の中国帰国者子女の日本語教育サポートのため、当小学校を訪問し、協力方法の協議とゼミ生の教育実践活動を行った。                  2. 第1回、第2回アジア・アフリカとびっきり映画in宇治において中国映画の解説と中国写真展の開催に尽力した。</p> <p>平成22年 6月 京都府中国帰国者会への支援活動(文章の翻訳、総会の通訳など)</p> <p>平成22年10月 向島ニュータウン自治会への協力活動(宇治橋通りにぎわいフェスタなど。ゼミの3回生を指導し、中国文化の紹介と中国茶会を行った。)</p>

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (8/9)

平成二十一〜二十五(2009〜2013)年度の社会における活動

(NPO法人等の団体への参画 つづき)

平成22年12月 大学の茶室で向島自治会や中国帰国者の会の方々と「鍋の会」を行い、二胡の練習を通じて交流を行った。

平成23年 1月 京都文教小学校のグローバルウィークにおいて、中国文化紹介の展示会の企画と開催。そのうち、2010年度中国実習参加学生と一緒に小学生への中国文化講座を行った。

平成23年 2月 向島商店街で学生・自治会共催の朝市において潘ゼミの2回生と一緒に帰国者と交流を行った。

平成23年 3月 向島ニュータウンセンター商店会への協力活動(「巨椋わくわく朝市」チラシの中国版作成など。一般市民と中国帰国者の交流を支援した。)

平成23年度

1. 天津商業大学および南開大学濱海学院との交流提携に協力した。
2. 京都府中国帰国者会への支援活動(例えば、中国帰国者と一般住民の交流への協力)
3. 日本と中国の大学間交流への尽力(中国人学者の訪日への協力、日中大学の交流提携への協力など)

平成23年 6月 向島ニュータウンセンター商店会への協力活動(活動チラシの中国語版の作成 など)

平成23年11月 向島ニュータウン自治会への協力活動(10街区自治会からの要請を受け中国帰国者のために「住民へのお知らせ」を中国語版に翻訳 など)

平成24年 6月 京都文教大学人間学研究所共同研究プロジェクト「リバイビング・ニュータウン：住民主体のコミュニティ再活性化に向けた研究」、共催：京都市向島図書館、向島ほっこりフェスタ実行委員会「街づくり、すまいづくりの流れ～2DK・団地から都市再生までの50年～」へ参加・交流

平成24年 6月・7月 向島ニュータウンセンター商店会への協力活動(「ほっこりフェスタ」では地域の住民、とくに中国帰国者と交流 など)

平成24年11月 向島ニュータウン自治会への協力活動(「向島駅前まちづくり協議会」からの要請を受け中国帰国者のために「第1回向島ニュータウン駅前健康福祉のまちづくりアンケート」を中国語版に翻訳 など)

平成25年 1月 本学が地域の活動拠点として伏見区向島ニュータウンセンター商店街において、「マイタウン向島」を開設し、そのセレモニーに参加し、中国帰国者と交流

平成25年 3月

1. 京都・大阪・東京の中国帰国者交流大会への参加・交流
2. アモイにある日本の関係企業4社へ訪問・交流
3. 天津の日系企業2社と法律事務所へ訪問・交流

平成24年度 日本と中国の大学間交流への尽力(中国人学者の訪日への協力、日中大学の交流提携への協力など)

平成25年11月 講演、テーマ「古都京都および京都文教大学」、対象：天津商業大学の学生、於：中国天津商業大学

(その他)

平成23年 3月 私立早稲田摂陵高等学校の模擬授業講師、於：同校

平成10年 4月 中国廈門市海外聯誼会理事「現在に至る」

平成15年 4月 龍谷大学法学部兼任講師(東アジア研究、フィールドワーク演習担当)「現在に至る」

平成17年 1月

1. 中国広東省民族研究所客座教授「現在に至る」

2. 中国泉州海外交通博物館兼職研究員「現在に至る」

平成21年度 日本華僑華人学会研究大会執行委員会委員

平成22年度

1. 日本華僑華人学会企画委員会委員

2. 中国の天津商業大学・廈門大学との交流に尽力した。

平成22年 4月

1. 中国福州大学客座教授「現在に至る」

2. 大阪府日中友好協会会員「現在に至る」

平成 26 (2014) 年度 教員活動報告書 (9/9)

平成 二十一 ～ 二十五 (2009～2013) 年度の 社会に おける 活動	(その他 つづき)	
	平成24年 7月	京都文教教養講座 文化人類学科テーマ:「身近な異文化交流」第1回講師、「宇治の萬福寺と隠元および中国の鄭成功 ～17世紀中期における日中交流のドラマをめぐって～」、於:京都文教大学
	平成25年 7月	京都文教教養講座 総合社会学部テーマ:「国際文化としてのお茶・コーヒー」第3回講師、「現在における中国の茶文化」、於:京都文教大学
	平成26年 2月	京都文教短期大学附属小学校「グローバル週間」・中国文化講座講師、対象:同校6年生、テーマ:「中国および春節」、於:同校
	平成26年 3月	本学総合社会学部長と共に裏千家本部を訪問し、5年にわたっての本学の中国実習へのご協力に対して感謝の意を表した。